



第4回 Next Package2021

Web 展示会を振り返って

第4回 Next Package 実行委員
凸版印刷株式会社 大日方 野枝

1. 第4回 Next Package Web 展示会の開催にあたって

2021年11月18日、19日の2日間にわたって、第4回 Next Package Web 展示会～人と技術の交流が未来を包む～を開催致しました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。



Next Package 展は包装材メーカーと食品メーカーを一同に介し、双方の交流を目指した当協会独自の展示会として、2018年より開始しました。第1回、第2回は東京・秋葉原 UDX カンファレンスギャラリーでリアル展示会にて実施しましたが、第3回、第4回はコロナ禍の状況をふまえ Web 展示会としました。第3回は初めての Web 展示会だったこともあり、出展企業と参加者のコミュニケーションに課題を残し、特に出展企業の皆様よりどのような企業からアクセスいただいたのか情報が得られなかったとご指摘をいただきました。そこで、今回は展示会に参加いただいた方々に個人情報収集に関して同意いただいたうえで、氏名、所属、興味のある分野などの情報を登録いただき、出展企業にアクセスした場合に履歴を残す仕組みとしました。また、出展企業によるオンラインセミナーの実施とブレイクアウトルームの設定により出展企業と参加者がコミュニケーションできる場を設定しました。

2. 展示会の準備

展示会準備は、第3回 Next Package 展の振り返りと反省から始まりました。リアル展示会と比較してサンプル展示ができない、対面でコミュニケーションできないといった状況で、どのように魅力ある展示会とできるかが課題となりました。また、運営委員もシステムや展示会運営に不慣れな委員も多く、何ができるか議論を重ねました。その結果、出展企業には昨年同様に当協会のホームページ上に情報を提供いただいた上で、新たに ZOOM を用いた各社1時間のオンラインセミナー枠を設け、セミナー後にブレイクアウトルームで商談いただけるスペースを設けました。ブレイクアウトルームは出展企業ごとに設け、セミナーを実施しない出展企業にも活用いただきました。また、当協会のホーム



ページを改修し、事前登録いただいた参加者がどの出展者にアクセスしたか足跡が残せる仕組みとし、出展企業にフィードバックできるようにしました。

3. 開催の様子

容器包装材料メーカーを中心に 14 社に出展いただき、うち 7 社にオンラインセミナーを実施いただきました。2021 年 11 月 18 日 10 時、当協会の桑垣理事（キッコーマンビジネスサービス（株））の開会挨拶に続き、石谷理事長の講演で展示会がスタートしました。1 日目は 3 社に講演いただき、（株）クラウン・パッケージには「クラウン・パッケージのエコロジーペーパー」のタイトルで、廃棄する素材を再資源化した“スマートパピエ”や箱からはじめる社会貢献“カラフルウィッシュ”を中心に様々な取り組みを紹介いただきました。続いて、日本トーカンパッケージ（株）には「日本トーカンパッケージ（株）会社紹介」のタイトルで、会社紹介とともに数十種類に渡る開発製品を紹介いただきました。初日最後は、四国化工機（株）に「環境調和容器のご提案」として、包装容器に新たに求められている環境との調和について製品事例とともに提案いただきました。

オンラインセミナープログラム

2021/11/18 (木)	
10:00～10:05	開会挨拶：Webコミュニケーション委員長 桑垣傳美
10:05～10:45	理事長講演：日本食品包装協会理事長 石谷孝佑氏 『環境に優しい包装から見る IPCC第6次報告と COP26を巡る課題』
10:45～11:00	休憩
11:00～11:30 セミナー1	講演：(株)クラウン・パッケージ 早乙女信之氏 『クラウン・パッケージのエコロジーペーパー』
11:30～11:45	質疑応答
11:45～13:00	休憩
13:00～13:30 セミナー2	講演：日本トーカンパッケージ（株） 岸本浩二氏 『日本トーカンパッケージ株式会社紹介』
13:30～13:45	質疑応答
13:45～14:00	休憩
14:00～14:30 セミナー3	講演：四国化工機（株） 土屋暁裕氏 『環境調和容器のご提案』
14:30～14:45	質疑応答

[こちらから
ご参加くだ
さい](#)

2 日目は、はじめに（株）フクダに「食品包装における、包装の完全性評価と漏れ試験基準について」のタイトルで、食品包装における漏れ試験基準について医薬品を例にとり、



その考え方を解説いただきました。2件目は、インパック(株)に「TTtimer (簡易型積算温度インジケータ) のご紹介」として、生鮮品は温度と時間の掛け算、すなわち積算温度を因る事で鮮度を推定できる点を利用し、北海道大学と共同開発をしたメイラード反応を用いた簡易な積算温度を紹介いただきました。3件目は、(株)悠心に「固形物を含む食品類の粉碎含浸シールと低床型小袋包装機 A one (エーワン) 」のタイトルで、液体自動包装充填機 GANSHIN で充填する固形物を含む食品類の粉碎含浸シールの説明、および調味料などの小袋を一定数量ごとに袋詰ができる低床型小袋包装機 A one (エーワン) についてご紹介いただきました。最後に、SAES Coated Films S.p.A に「サーキュラーエコノミー実現に向けた欧州の動向と、それに対応した軟包装材料」として、欧州で積極的に推し進められているサーキュラーエコノミーに向けたアクションの概要と、それに対応したモノマテリアルやコンポストブル包装を実現可能なバリアフィルムについてご紹介いただきました。いずれの講演も盛況で、活発な質疑をいただきました。

2021/11/19 (金)	
11:00~11:30 セミナー4	講演：(株)フクダ 樋口泰彦氏 『食品包装における、包装の完全性評価と漏れ試験基準について』
11:30~11:45	質疑応答
11:45~13:00	休憩
13:00~13:30 セミナー5	講演：インパック(株) 西宮陽郎氏 『TTtimer(簡易型積算温度インジケータ) のご紹介』
13:30~13:45	質疑応答
13:45~15:00	休憩
15:00~15:30 セミナー6	講演：(株)悠心 千野博規氏 『固形物を含む食品類の粉碎含浸シールと低床型小袋包装機A one(エーワン)』
15:30~15:45	質疑応答
15:45~16:00	休憩
16:00~16:30 セミナー7	講演：SAES Coated Films S.p.A. 戸田道夫氏 『サーキュラーエコノミー実現に向けた欧州の動向と、それに対応した軟包装材料』
16:30~16:45	質疑応答
16:45~17:00	休憩
17:00	閉会挨拶：Webコミュニケーション副委員長 淵田泰司

[こちらから
ご参加くだ
さい](#)

また、各社展示ブースでは、詳細は割愛致しますが製品説明資料や YouTube 動画などを展示いただき、多数の皆様にごアクセスをいただきました。2日目 17 時、渕田展示会実



行委員長（共同印刷（株））の閉会挨拶で終了となりました。

4. 出展企業

展示会にご出展いただきました企業は下記の通りです。五十音順で記載しています。

1. 出光興産株式会社
2. インパック株式会社
3. 押尾産業株式会社
4. 株式会社クラウン・パッケージ
5. SAES Coated Films S.p.A
6. 四国化工機株式会社
7. 東洋インキ株式会社
8. 東洋製罐グループホールディングス株式会社
9. 日本トーカンパッケージ株式会社
10. 株式会社フクダ
11. 藤森工業株式会社
12. 三笠産業株式会社
13. 三井化学株式会社
14. 株式会社悠心

5. おわりに

第4回 Next Package 展は大きなトラブルなく終了し、とくに出展企業の皆様のご協力に感謝申し上げます。登録いただいた参加者総数は約 250 名で、来年度は参加人数を増やしていく所存です。また、展示会後のアンケートで開催通知やセミナー、ブレイクアウトルーム設置などの事前アナウンスが不十分とのご指摘をいただき、今後の改善につなげたいと思っています。来年は第5回 Next Package 展を開催予定です。状況をみながら、リアル展示か Web 展示か、もしくはハイブリッド型か・・・いずれにしてもより良い展示会となるよう、検討して参ります。引き続き、Next Package 展をよろしくお願い致します。